

L'ORÉAL

「ロレアル・ブースト」若年層の雇用機会促進を支援する新しいグローバルプログラム 「ロレアル・フォー・ユース・プログラム」の始動から1年 ロレアルは未来を担う次世代が成功するための支援を続けます

世界最大の仏化粧品会社ロレアルグループ（本社:パリ）は、パリ現地時間2022年9月27日、「ロレアル・ブースト」プログラムの始動を発表しました。現代社会では、世界規模で若者の失業が懸念されています。「ポストン・プロジェクト」によると、Z世代の46%¹が企業からのスキルアップ支援を待ち望んでおり、「ユニヴァーサム」が行った調査によると、将来に向けて備えができていないと感じているとの回答は、わずか39%²に留まっています。学生が雇用主に期待する最も重要かつ具体的な方法は、知識や、学習・研修などの機会の提供です。

ロレアルが展開するブーストプログラムは、この喫緊のニーズに応えるものです。世界中の若年層を支援する「ロレアル・フォー・ユース」の取組みを強化しながら、次世代も成功することができるポジティブな未来創出をリードしたいと考えています。

新しく始動した「ロレアル・ブースト」プログラムでは、キャリアの初期段階にいる若年層の雇用に関する能力開発のため、毎年2万人の学生にオンデマンドのデジタルコースを提供していきます。本コースは、学生および社会人向けオンライン学習のプロバイダー大手であるCoursera（コーセラ）が提供するものです。これにより「ロレアル・ブースト」は、学校教育における学びと、職場で必要とされるスキルの間にあるギャップを埋めるべく、職業訓練機会の提供という扉を開き、社会的に恵まれない立場にいる若年層に対して、世界で最も権威ある大学の認定資格を得るための機会を提供します。さらに、プログラム受講者のうち10万人に、企業が最も使用する頻度の高いデジタルツールやソフトウェアに関するトレーニングを直接受けることのできる革新的な実践的学習ツールも提供します。

「若年層への投資は、私たちの責任でありロレアルの企業文化において非常に重要な部分を占めています。ロレアルは、若者こそ会社の未来を形成する存在であると、若者を信じ続けています。今は若い世代にとって困難な時代です。ですから、企業として、より積極的に関わっていくことが必要です。この2年間は特に、恵まれない環境にある若年層の教育・進学を支援してきました。これまで以上に、若者たちが明るい未来を築けるよう支援することが、ロレアルの責任です」と、ロレアルグループのCHRO（チーフヒューマンリレーションズオフィサー）であるジャン-クロード・ル・グランはコメントしています。

コーセラの最高経営責任者(CEO)であるジェフ・マッジョンカルダは、次の通り述べています。「デジタルスキル開発プログラムの履修が拡大することで、現在雇用市場が提供する機会へのアクセスがより平等になります。私たちはロレアルと提携し、世界中の何千人もの若者に世界レベルのオンライン学習と、より大きな機会を提供できることを嬉しく、誇りに思います」

「ロレアル・ブースト」は、2021年7月に発足した当社グループの先駆者的なグローバルイニシアチブ「ロレアル・フォー・ユース」に付随する最新の取り組みです。「ロレアル・フォー・ユース」は、若年層の雇用機会拡大を支援し、雇用の可能性を高めるため具体的な行動を起こしている活動です。特に雇用市場へのアクセスが困難な、社会的に恵まれない立場にいる若者を対象としています。現在までに、18,342件の就業機会を創出し、59,000人のマスタークラスへの参加登録、70,000人のアップスキルを支援し、18,000人の若者へキャリアコーチング、13,000人にメンター派遣を行っています。ロレアルは30歳未満の25,000人に対し、機会を提供する予定です。

詳しくは、当社グループのウェブサイトにおける「[ロレアル・フォー・ユース](#)」および「[コミットメントと企業責任](#)」のコンテンツをご覧ください（英語のみ）。

ロレアルについて <https://www.loreal.com/en/>

ロレアルは、100年以上にわたって美に専念してきました。³⁵の多様で補完的なブランドからなる独自の国際的なポートフォリオにより、グループは2020年に279億9000万ユーロの売上高を達成し、世界中で85,400人の従業員を雇用しています。世界有数のビューティーカンパニーであるロレアルは、マス市場、百貨店、調剤薬局・ドラッグストア、ヘアサロン、トラベルリテール、ブランドリテール、Eコマースなど、あらゆる流通ネットワークに展開しています。研究とイノベーション、そして4,000人の研究専任チームは、ロレアルの戦略の中核であり、世界中の美への熱望を叶えるために活動しています。ロレアルは、2030年に向けてグループ全体で意欲的な持続可能な開発目標を掲げ、より包括的でサステナブルな社会に向けてエコシステムを強化することを目指しています。

日本ロレアルについて <https://www.loreal.com/ja-jp/japan/>

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2021年末時点での社員数は、2,270人、2021年12月現在の取り扱いブランドは18です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。日本はロレアルグループのなかで戦略的拠点のひとつであり、マーケティングならびに営業拠点のほか、研究開発所（日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター）と製造工場（株式会社コスメロール）とシュウウエムラとタカミの2つのブランドの本社組織（商品企画やグローバル展開施策を策定する組織）を有しています。

¹ *The Bosen Project, 2020, "Lockdown Generation"*

² *Universum, 2021, "The future of education post Covid"*